

形歯発第290号  
令和2年10月5日

障がい福祉関連団体  
障がい者施設各位  
特別支援学校

一般社団法人 山形県歯科医師会  
会長 富田 滋

(山形县委託事業・障がい者歯科保健研修会の開催)

## 令和2年度障がい者歯科研修会の開催のご案内

平素は、本会会務運営に格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、山形县委託事業として、障がい者歯科保健を推進することを目的として、標記研修会を下記日程によりで開催いたしますので、貴職員及び担当者等にご周知下さるようご案内申し上げます。

なお、本研修会はインターネットを利用したWebセミナーソフト「Zoom ウェビナー」を使用して開催しますので、参加希望の方は下記QRコード又は、山形県歯科医師会ホームページ<http://www.keishi.org/>より**10月27日(火)まで**お申し込み下さい。

10月28日以降、「Zoom ウェビナー」の招待状をご登録いただいたメールアドレスにお送りしますので、ソフトのインストールと参加登録(氏名の登録は本人名義)をお願いします。研修会の資料は後日郵送となります。

日 時 令和2年11月7日(土) 13:00~17:00

受講方法 Web配信 (Zoom ウェビナー) 会館での受講は出来ません。

対象者 会員、スタッフ、障がい者福祉関連団体・施設関係者・ご家族等

### 〔講演1〕

演 題 「在宅で療養している小児の現状と求められる歯科的対応」

講 師 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック

教授 田村 文 誉

### 〔講演2〕

演 題 「子育て支援としての小児在宅医療 ―訪問診療の実際―」

講 師 あおぞら診療所ほっこり仙台 院長 田中 総一郎



担当：山形県歯科医師会 事務局 (今野)

〒990-0031 山形市十日町二丁目4-35

TEL 023-632-8020・FAX 023-631-7477

## 「在宅で療養している小児の現状と求められる歯科的对応」

田村 文誉

日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック

小児在宅歯科医療研究会

在宅で療養している児の多くは医療的ケア児です。医療的ケア児に定義はありませんが、2016年に児童福祉法が改正された際、「人工呼吸器を装着している障害児その他の日常生活を営むために医療を要する状態にある障害児」と表現されました。また在宅療養児には、医療的ケア児のほか、慢性疾患、小児がんなどの疾病がある子どもたちも含まれます。19歳以下の医療的ケア児は、2017年には18951人であり、経年的にほぼ直線的に増加しているとされます(奈倉, 2019)。これまで医科領域では、小児在宅医療の重要性が謳われ、NICUやPICUからの在宅移行支援や、在宅医療支援プロジェクトなどの取り組みが行われてきました。一方、歯科ではどうでしょうか。各地域で小児在宅歯科医療の必要性に迫られた歯科医師や歯科衛生士が、孤軍奮闘しているのが現状です。

外出困難な小児患者にとって、在宅歯科医療の充実喫緊の課題です。予防歯科的な観点からう蝕、歯周病にさせないこと、また生命予後にも関与する経口摂取の可能性のために、地域での在宅歯科医療の充実が求められます。小児在宅歯科医療と言うと、訪問歯科診療をイメージするかもしれませんが、しかし、小児在宅歯科医療は「在宅で療養する小児を支える歯科医療」であり、その観点からすれば、地域のかかりつけ歯科医としての役割、後方支援病院としての役割など、いくつもの役割が存在します。

東京都多摩地区では、都立小児総合医療センター小児歯科の小方清和先生を代表として、地域歯科医師や基幹病院と協働して在宅小児をシームレスにサポートする、「多摩小児在宅歯科医療連携ネット(たましょう歯ネット) <http://tamashou-shika.com/index.html>」を発足しました。また、2018年10月には全国の歯科医療関係者が集まり、第1回小児在宅歯科医療研究会が東京で、2019年の10月には第2回が幕張で行われました。残念ながら今年札幌で予定されていた第3回はCOVID-19の影響で延期となりましたが、多くの歯科医師・歯科衛生士がこの分野に取り組もうとしていることに変わりはなく、来年の開催に期待を寄せています。小児在宅歯科医療の充実には、地域でのシステム作りが重要です。各地域の実情に応じたシステムを構築し、社会に貢献できる歯科医療の普及に力を入れていきたいと考えます。

### 緒言

2020年初頭より、世界中でCOVID-19の感染が拡大し、歯科医療にも大きな影響をもたらした。小児在宅歯科医療も同様であり、必要な医療を在宅療養児に届けるのが困難な事態となった。そこで在宅療養児に訪問診療を行っている歯科医師、歯科衛生士を対象に、その間の状況について情報収集を行い、若干の知見を得たので報告する。

### 対象と方法

小児在宅歯科医療研究会のメンバーを対象に情報提供を求め、19名から99件の回答が得られた。調査時期は2020年4月である。

## 結果

訪問診療を行っている回答者は 14 名、行っていない後方支援機関の回答者は 5 名であった。感染拡大中の小児在宅歯科医療の実施について、訪問を行っている回答者からは、何らかの形で訪問を制限しているという回答が 9 件、患者の希望がある限りこれまで通り訪問しているという回答が 11 件であった。訪問を行っていない回答者においては、外来診療を何らかの形で制限しているという回答が 11 件、患者側からの希望がある限り診療を続けている、が 2 件であった。

患者保護者からの困ったことの相談として、生活リズムが乱れ、保護者の負担が多くなっていることが挙げられた。感染拡大時の課題として、訪問者側が患者宅にウイルスを持ち込まないことの他に、今の時期だからこそ、重症化予防のための診療が必要なのに行えないことがもどかしい、という意見がみられた。

## 考察とまとめ

回答者のそれぞれの医療機関や診療の状況により、感染拡大防止への対応は異なると考えられる。現状では感染リスクと診療しないことのリスクの考え方の整理ができておらず、それが現場の混乱に拍車をかけていると思われる。今後、感染の第 2 波、第 3 波が確実に来ると予測されており、小児在宅歯科医療における感染防止に関するガイドラインの早急な作成が必要と考えられた。

## 「子育て支援としての小児在宅医療 ～訪問診療の実際～」

あおぞら診療所ほっこり仙台 田中総一郎

2016年10月に仙台市青葉区に、主に小児在宅患者を対象とした訪問診療所を開設した。2020年8月までに97人の登録があり、亡くなられたのは8人でそのうち3人はご自宅でお看取りをした。現在は77人の患者さんのご自宅を訪問している。

対象となる患者は、1)人工呼吸器、中心静脈栄養など濃厚な医療デバイスが必要な方、2)先天性代謝異常症やミトコンドリア病などで、定期的な薬物点滴治療が必要で、月2～4回の通院の負担が大きい方、3)通院のための移動自体が健康維持に負担になってしまいう方、4)主な養育者であるご家族がご高齢・ご病気などで通院が困難な方、5)体調不良でよく入退院を繰り返すため、訪問看護、訪問リハ、ヘルパー、相談支援専門員など地域スタッフの介入による家庭の養育環境へのアプローチが必要な方、6)小児から成人へのトランジションで行き場のなくなってしまう年長患者などが上げられる。

人工呼吸器や気管切開などが必要な子どもたちは医療的ケア児と呼ばれるが、この10年で約2倍、人工呼吸器療法を受けている小児患者は10倍に増えた。小児在宅医療資源の整備は喫緊の課題である。

患者の年齢は0～19歳が40例、20歳代が31例、30歳以上は26例である。重症児スコアは準超重症児が30例、超重症児が42例、合わせて72例(74%)である。

診療の実際は、定期的・計画的に月2回程度自宅を訪問する訪問診療に加えて、体調不良時は臨時に往診する。診察、採血、輸液、薬剤投与、気管支ファイバー検査、超音波検査などを行う。訪問看護ステーションと連携して自宅での輸液療法を継続する。定期訪問は1カ月に142回、臨時往診は17回、一日の訪問件数は8～10件である。

医療デバイスは人工呼吸器27例(28%)、酸素療法49例(51%)、気管切開50例(52%)、経管栄養73例(75%)であった。亡くなった8人のうち、脳性麻痺で直腸がんを発症した44歳の方、18トリソミーの4カ月児、脊髄性筋萎縮症5歳(急性脳症)の3人はご自宅で看取った。臨時往診で輸液治療が必要だったのは37人(62%)で、主に感染症、脱水症、気管支喘息に対する治療であった。2年間で101例、404日間あり、おおよそ週に1例4日間のペースであった。紹介入院依頼は10例(10%)、うち6例は腸閉塞と肺炎の診断で点滴開始後2日までに紹介した。3日以上点滴した72例のうち自宅で治癒したのは68例で、95%の患者が入院を回避できた。

病院と訪問診療が連携することにより、軽症例は自宅で治療でき病院はより重症な患者の治療に専念できる。また、患者や家族の負担を減らすことができる。

講演では主に小児在宅患者を対象とした訪問診療の実際をご紹介します。

# Zoom ウェビナー（WEB 研修会）受講マニュアル

山形県歯科医師会

## 準備編

事前にインストールすることで、Zoom ウェビナーへの参加がスムーズになります。パソコンまたはタブレットへ Zoom のインストールをお願いいたします。タブレットから参加される方は、アプリケーションのインストールが必須です。

【パソコンの場合】

### ①ダウンロードページを開く

URL (<https://zoom.us/download>) のダウンロードページにアクセスしてください。

### ②ダウンロードボタンをクリックする

【画像 1】の画面が表示されますのでダウンロードボタンをクリックしてください。

### ③各手順に従ってインストールする

### ④事務局からのメールを確認する

事前に事務局から参加用 URL（例：<https://us02web.zoom.us/webinar/〇〇〇△△△□□□>）が送られてきていることを確認してください。

画像 1（パソコンの場合）



【タブレットの場合】

### ①アプリケーションをダウンロードする

iOS の場合は App Store で、android の場合は Google play で「ZOOM cloud meeting」を検索し、インストールしてください。

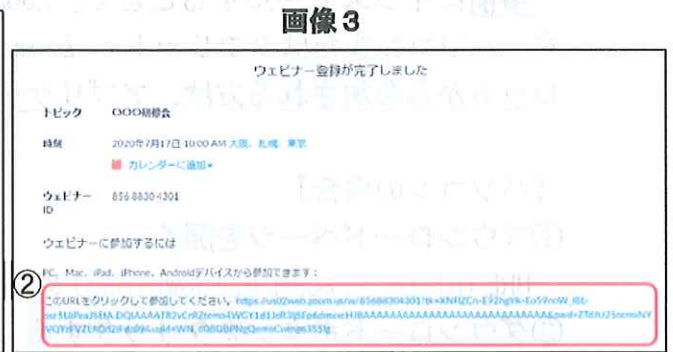
### ②事務局からのメールを確認する

事前に事務局から参加用 URL（例：<https://us02web.zoom.us/webinar/〇〇〇△△△□□□>）が送られてきていることを確認してください。

# 参加編

## 1. URL にアクセスし、各種情報を登録する

事務局から送られてきた URL にアクセスすると web ページが起動し【画像 2】が表示されますので、①名性（日本語）とメールアドレスを入力して登録ボタンをクリックしてください。【画像 3】の登録完了画面が表示されたら②URL をクリックして参加してください。

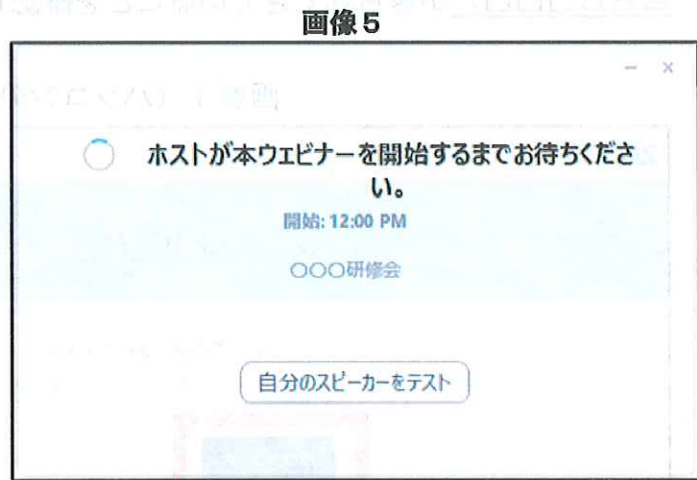
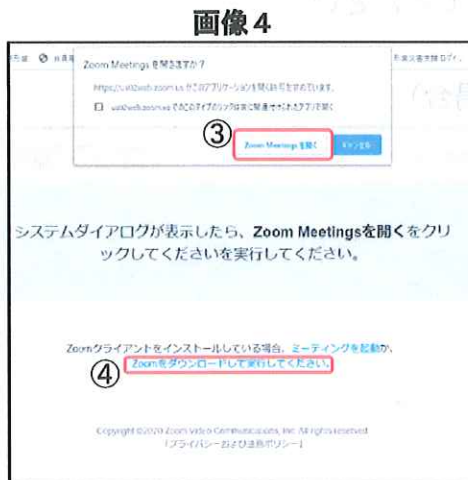


## 2. アプリケーションで開く

【画像 4】の画面に切り替わり③「Zoom Meetings を開く」をクリックしてください。  
（※事前にアプリケーションをインストールしていなかった場合、ここで自動でダウンロードとインストールが実行されます。自動で開始されない場合、④「Zoom をダウンロードして実行」をクリックしてください。）

## 3. 待機画面

開始時間前の場合、【画像 5】のように開始時間とウェビナーのタイトルが表示されます。以上で WEB 研修会への参加準備は完了になります。ホストがウェビナーを開始するまでお待ちください。



## 4. ウェビナー開始後

【画像 6】のように WEB 研修会の画面に切り替わり、画面中央下に⑤「Q & A」の項目が表示されます。質疑応答の際は、「Q & A」をクリックすると【画像 7】の画面が表示されますので、質問事項を入力し、送信することで発表者に対して質問することができます。WEB 研修会終了後は【画像 6】の右下の⑥「退出」ボタンをクリックしてください。以上で WEB 研修会は終了となります。

